

自己評価結果報告書

2025年4月25日

旭川情報ビジネス専門学校

2024年度旭川情報ビジネス専門学校 自己評価

1. 学校の教育目標

＜教育目標＞情報処理のスペシャリストとして即戦力となりうる人材を育成する。
豊かな人間性と知的な教養ある人材を育成する。

＜基本方針＞具体的な方策

1. 必要な専門知識技術の習得を徹底させ、情報化社会を推進する実力をみにつけさせる。
2. 習得した技術を生かし、社会の発展・充実に貢献できるよう努める

2. 本年度の重点課題(目標及び計画)

1. 就職率100%
2. 地域社会との密接な連携をし、積極的に社会貢献に努める

3. 評価項目の達成及び取り組み状況集計結果 (適切:4、ほぼ適切:3、やや適切:2、不適切:1とし、平均値を記載)

(1) 建学の趣旨と教育の方針(教育理念・目標)

評価項目	自己評価
・学校の建学の趣旨と教育の方針は定められている。	3.7
・将来的展望を踏まえて学校の将来構想を抱いている。	2.7
・学校の建学の趣旨・教育の方針・将来構想は学生・保護者等に周知されている。	3.0

課題や改善点

・新技術を身に着けた若い技術者を教員として採用する。
・Youtube や SNS 等、現代のインターネットの流行をあまり取り入れていない。将来的には部分的にも取り入れた方がよいかもしれない。

(2) 学校経営方針(学校運営)

評価項目	自己評価
・教育理念・目標に沿った学校経営方針が策定されている	3.0
・学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能している。	3.0
・地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されている。	3.3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされている。	3.2

課題や改善点

・短期間での人事変更により体制が整っていない。

(3) 教育活動(各学年指導計画)

評価項目	自己評価
・カリキュラム(実習等を含む)は体系的に編成され学習時間の確保は明確化されている。	3.8
・成績評価・単位認定・進級・卒業の基準は明確化されている。	3.7
・教育の方針(人材育成)達成に向けた授業担当教員を確保している。	2.7
・教員の先端知識・技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われている。	2.8

課題や改善点

・教員が資質向上のために必要な時間を十分に確保できない。
・教育の方針達成に向けた授業担当教員を確保しているとは言えない。
・資質向上のための取り組みは故人任せであり、組織的にできていない。
・成績評価が数値化されており方法は明確。
・不足していた教員が1名補充されたが、まだ必要。人材を探すことが困難な為早めに募集をかけたい。

(4) 教育成果

評価項目	自己評価
・就職率の向上が図られている。	3.7
・国家試験合格率の向上が図られている。	3.5
・退学率の低減が図られている。	2.5
・卒業後の生徒のフォローアップなされている。	3.0

課題や改善点

- ・退学率を低減するために、初期フォローを充実、強化する。
- ・就職に前向きでない学生が年々増えている。
- ・国家試験も IT パスポートから全員チャレンジさせてはどうか。
- ・学生数、クラス数に対して適切な人数の担任を配置できていない。このため学生全体へのフォローをし切れていないように思える。

(5) 学生支援

評価項目	自己評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されている。	3.5
・学生相談に関する体制は整備されている。	3.3
・学生への経済的な支援体制は整備されている。	3.5
・学生の健康管理を担う体制はある。	3.0
・保護者と適切に連携している。	3.7
・卒業生への支援体制はある。	3.3

課題や改善点

- ・メンタルヘルスへの対応体制が不足している。
- ・学生を適切に支援するにはもっとマンパワーが必要。

(6) 教育環境

評価項目	自己評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されている。	2.7
・学内外の実施施設等について十分な教育体制を整備している。	3.8

課題や改善点

- ・施設・設備の老朽化があるもののおおむね対応できている。
- ・建物診断の実施が必要。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	自己評価
・学生募集活動は適正に行われている。	3.2
・学費等納入金は妥当なものとなっている。	3.2

課題や改善点

- ・高校との関係をより強化するため、在学生の情報を共有したい。
- ・学費等が物価上昇に対応できていない。
- ・募集活動が不活発だったように見えた。
- ・教材費が増えている。一部教材は学費から支出し、そのうえで学費を見直すべきでは？
- ・学校訪問を増加する。

(8) 財務

評価項目	自己評価
・中期的に学校の財政基盤は安定している。	3.0
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものである。	3.5

課題や改善点

- ・定員充足率に変動があり、少子化対策が必要。
- ・財政面からだけでは見れば妥当かもしれないが、圧倒的にマンパワーが足りず、常勤3名にしわ寄せがいついていいるおかげで打倒になっているだけではないか。

(9) 地域社会貢献

評価項目	自己評価
・ボランティア活動を通じ、学生・教員が地域社会貢献を行っている。	2.3

課題や改善点

・中学生の体験授業受け入れなどにより、学校として地域社会に貢献できているが、アフターコロナでは学生のボランティア活動を実施できていない。
・校外清掃の実施をすべき。
・ボランティア活動を行っていない。

(10) 法令等の遵守

評価項目	自己評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされている。	4.0
・個人情報に関して、その保護のための対策がとられている。	3.7
・学校自己評価の実施と問題点の改善を図っている。	3.7
・学校自己評価結果を公開している。	3.3

課題や改善点

--

以上